

『「自明性の罭」からの解放』(P8)を読み、次の設問に答えなさい。

●次の空欄に本文中の語句を入れて、内容を整理せよ。

第一段落 (初め〜九・五)

自分の生きている「**社会**」から出て、離れた世界に立ってみる

↓自明だと思ってきたことが「**当たり前**」ではないもの」として見えてくる

*筆者の関心は、現代社会・「**近代化**」された社会と、そうでない社会との比較にある

第二段落 (九・6〜一一・12)

インドやメキシコやブラジルで体験する不思議

①旅の話は「**3K**」のことばかりだが、不思議な魅力で好きになっている

②「**非能率**」でやれることが少ないのに、長くいたという気がする

第三段落 (一一・13〜一三・1)

インドやラテンアメリカのような世界

∴時間が上滑りしていない・時間が「**生きられる**」ものである

∥人生が「**上滑り**」していない

第四段落 (一三・2〜一三・12)

ヨーロッパの都市には十四世紀から十五世紀にかけて「**大時計**」が設置された

∥時間という枠組みの中に人間の「**生**」が置かれる

↓現代の生活の時間の「**単位**」はさらに細かくなっている

第五段落 (一三・13〜終わり)

「現代」から離れた世界について

嫌いになる理由∥目に見えるもの・計算できるもの・「**言葉**」にしやすいもの

好きになる理由∥目に見えないもの・測定できないもの・言葉で説明できないもの

∥人間が生きていくうえでいちばん「**核心**」にあるもの

←
近代の後の、本当によい社会や「生き方」の形を構想し、「**実現**」していくことができる
*異世界を知ること「自明性」の檻から自由になり、人間の作る社会の「**可能性**」に対する想像力を獲得することが大切

●次の空欄に本文中の語句を入れて、全体の要旨を整理せよ。

「現代」から離れた世界では「**時間**」が上滑りしておらず、非能率であっても永く生きたような感じがする。「**ネガティブ**」な体験が多いにもかかわらずこうした国を好きになるのは、人間が生きるうえで「**核心**」にある、目に見えず、測定できず、「**言葉**」では説明できない魅力があるからだ。私たちは、さまざまな社会を知ること現代社会の「**自明性**」の檻から自由になり、本当によい社会や生き方の形を構想して、「**実現**」することのできる場所に立っている。

●右を参考にして、要旨を百字以内にまとめよ。

ヒント①右の文の中で必要のない文を削る。

ヒント②右の文で短い言葉に言い換える。

の	檻	ま	心	現
形	か	な	に	代
を	ら	社	あ	社
構	自	会	る	会
想	由	を	、	か
し	に	知	目	ら
、	な	る	に	離
実	り	こ	見	れ
現	、	と	え	た
し	本	で	な	世
て	当	、	い	界
い	に	現	魅	に
く	よ	代	力	は
こ	い	社	が	、
と	社	会	あ	人
が	会	の	る	間
で	や	自	。	の
き	生	明	さ	生
る	き	性	ま	の
。	方	の	ざ	核

※単語意味調べについては、各自調べた内容をこの余白に書き込んでおきなさい。単語はHP上で指定してあります。